

## Critical Appraisal Worksheet -⑤

## 鑑別診断 Differential Diagnosis

JAMA 医学文献ユーザーズガイド 第15章参照

このシートは「JAMA 医学文献ユーザーズガイド第2版」を利用し EBM を理解するための補助ツールです。本シートに記載されている項目は、書籍「JAMA 医学文献ユーザーズガイド」及び、オンライン JAMAevidence (2011年1月時点) に発表されているものです。表内の青色で示すイタリック表示部は、JAMAevidence や McMaster 大学の EBM working group (Guyatt 教授より提供, 2008) のワークシートを参考としているため、書籍内容と異なっている場合があります。本シートは自由に利用してかまいませんが、間違いや改善点がありましたらご連絡ください(相原: ezy01757@nifty.ne.jp)。

引用

## I 結果は妥当か

1	<b>研究患者は、この臨床問題のある患者の全容を代表していたか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者サンプルは、診断上のジレンマを持つ患者らを代表しているか</li> </ul>	
2	<b>診断評価は確定的だったか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>診断評価は十分に包括的だったか</li> <li>診断評価は全患者に一貫して適用されたか</li> <li>すべての候補診断のための基準が明瞭かつ信用のできるものだったか</li> <li>診断は再現可能か</li> <li>診断不明の患者は少なかったか</li> <li>診断不明の患者の追跡は十分に長期間で、なおかつ完了していたか</li> </ul>	

## II 結果は何か

1	<b>診断および各診断の確率はどれほどか</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の診断を持つ患者についてはどう結論付けられていたか</li> </ul>	
2	<b>疾患確率の推定値はどれくらい精確か</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各診断の確率の信頼区間はどうかだったか</li> </ul>	

### Ⅲ 結果を患者のケアにどのように適用できるか

1	<p><b>研究患者と臨床セッティングは、自身のものと似ているか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究患者と臨床セッティングは自身のものと十分に似ており、エビデンスを活用できるほどか</li> <li>患者とセッティングは自身のものとはあまりにも異なるため、結果を無視すべきだろうか</li> </ul>	
2	<p><b>このエビデンスが収集されてから、疾患である可能性や確率が変わった可能性は低い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな検査法の登場や、当該健康状態に関する知識の変化により、根拠となるエビデンスが揺らいだか</li> </ul>	

まとめ

コメント: